

岡田さんち新聞

20080515

第3号

社会福祉法人
東京弘済園
岡田さんち
20-3322

高級？マーマレード作り

運転手の大沢職員が、伊豆で甘夏みかんを収穫してきました。勿論食べなくても美味しかったのですが、甘い物好きの岡田さんちでは、「せっかく沢山あるのだから、マーマレードを作りたい！」という話になりました。



一口にマーマレードと言っても、作り方は人それぞれ、色々あるんですね！。特に皮の切り方はそのままま千切りにする人、丁寧に白いところをそぎ落とす人、から千切りにする人、細切れやみじん切りの人……。どの切り方がいいのかわからないですね。岡田さんちのマーマレ

ドには一人ひとりのこだわりをそのまんま一緒に鍋に入れました。色んな切り方の皮が入っ

ているのが岡田さんち流(?)

最後の仕上げにお酒を入れて御覧なさい、というアドバイ

ス。お酒かあ……。じゃ、これ入れよう！

なんと職員がロツカーから出してきたのは

ブランデー。何故ここにブランデーがあ

ったのかはともかくと

して、このブランデーがマーマレードの味に、グツと高級感をかもし出してくれました。注意！飲兵衛が仕

上げをすると、ブランデーを入れないのでご注意下さい。



お弁当持ってピクニック！

五月の爽やかな気候の中、金曜日のグループはピクニックに出掛けました。ピクニックに欠かせない

物といえばお弁当。そしてそのお弁当といえはおにぎり！ さあ、みんなでお弁当作りから始めるよー。

梅・シヤケ・昆布の三種類、合計

四十二個のおにぎりを、

ひたすら握りま

した。つまみ食いも

我慢して一生懸命、

でもおしゃべりしながら楽しく作りま

した。

焼き物係は

タコ型ウイン

ナーと卵焼き。

へトへトに疲

れたけど、まだ

まだ腕はなま

つちやいない

事が分かって、

ちよっぴり嬉しくもありました。

その他、トン汁やぬか漬け、いち

ご等を持っていざ目指すは弘済園の

芝生広場。爽やかな風を感じながら、

みんなで楽しく食べるお弁当は本当に美味しかった！。



その日お手伝いに来てくれたボランティアの入江君が、食後に沖縄の楽器「三線(さんしん)」の演奏を聞かせてくれました。彼の優しい表情と暖かい歌声、そして美しい三線の音色にうっとり夢心地。南国のビーチにいるような気分を満喫しました。



岡田さんちニュース

ゴールドデンウィークが明けた早々に、いよいよ野菜の苗を購入した。去年好評だったゴーヤを植えた場所には、今年は胡瓜を植える事に。去年のゴーヤ以上の大豊作を期待。その他、毎年定番の茄子、パセリ、バジル。また、去年の種から庭一面に芽吹いた青じその成長が楽しみ。

夏用のタペストリーの製作が始まった。前は春の小川に遊ぶ子供たち、そしてそれを包み込む花々がモチーフだったが、今度は一転、夏野菜がモチーフとなる。その舞台は利用者さんたちが現役の主婦だった時代「昭和の八百屋さん」。花もいろいろ野菜作りもなかなか楽しいと、ウケも上々。夏までに間に合うか、出来上がりに乞うご期待。

ある方が「青春のページ」を持ってきた。映画雑誌のゲリー・クーパーのグラビアの切り抜きだ。わざわざ新宿に行って買ったというスクラップ帳。少女だった彼女があの時代、どんな風に胸ときめかせてグ

ラビアを切り抜いたのか。大切に保管されたスクラップ帳は彼女の青春のページにちがいない。丁寧に貼られたグラビアはセピア色だが、想い出は色あせない。

お知らせ

この「岡田さんち新聞」は、東京弘済園のホームページでも見られるようになりました。ホームページでは写真もカラーでご覧いただけます。

http://www.kosaien.or.jp/daily_report/

